

2015年度

日本社会教育学会 六月集会

プログラム

6月6日(土) 13:30～18:15 (受付13:00～)

6月7日(日) 9:30～16:45 (受付 9:00～)

集会日程

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
6日 土					受付	プロジェクト研究			特別企画 ↑ 新職員問題 検討委員会	全国理事会	
7日 日	受付	会場校企画 プロジェクト研究		昼食	特別企画 2 倫理規定 委員会	ラウンドテーブル ① ～ ④					

16:45

会場 立教大学

〒171-8501 豊島区西池袋3-34-1

●問い合わせ先

立教大学文学部教育学科 和田悠研究室

TEL 03-3485-2480 yuwada@rikkyo.ac.jp

参加費 1,500円 (大学生は身分証提示で1,000円)

※なお、大学院生は学会員の場合のみ500円 (但し、身分証提示)

各地の研究集会

- 東北・北海道研究集会 5月30日(土)・31日(日)
(恵庭市市民会館)
- 東海・北陸地区社会教育研究集会 6月27日(土)
(アイセル21 静岡市)
- 関西研究集会 7月11日(土)
(関西大学 千里山キャンパス)
- 中国・四国地区社会教育研究集会 6月13日(土)
(鳥取大学)
- 九州・沖縄地区六月集会 6月27日(土)
(南九州大学)

[第1日]

6月6日(土) プロジェクト研究／特別企画

● プロジェクト研究「学びあうコミュニティを支えるコーディネーターの力量形成とその組織」—— 13:30～16:30

テーマ:「コーディネーターの力量形成とその組織(3) —課題整理と今後の展望」

司 会:井口啓太郎(国立市公民館)・村田晶子(早稲田大学)

報告1 「これまでの報告事例から見えてきた共通性と課題」 倉持伸江(東京学芸大学)

報告2 「社会教育実践研究・職員研究の展開とコーディネーターの力量形成」 中田スウラ(福島大学)

報告3 「今後の方向性を探る」 柳沢昌一(福井大学)

● プロジェクト研究「子ども・若者支援専門職の必要性和資質に関する研究」—— 13:30～16:30

テーマ:「子ども・若者支援に関する専門職をめぐる問題状況と課題(3)

—実態・事例調査の分析結果—」

司 会:生田周二(奈良教育大学)

報告1 「子ども・若者支援関係施設職員の考える専門性とは」 水野篤夫(公益財団法人 京都市ユースサービス協会)

報告2 「地域に基盤を置く子ども・若者支援論の可能性」 宮崎隆志(北海道大学)

コメンテーター:岡 幸江(九州大学)

● 特別企画1 新職員問題対策委員会 —— 16:45～18:15

テーマ「社会教育主事制度の現代的意義と可能性」

報告1 「『公民館主事』との関連で」 長澤成次(千葉大学)

報告2 「新しい『資格』との関連で」 笹井宏益(国立教育政策研究所)

コーディネーター:朝岡幸彦(東京農工大学)

[第2日]

6月8日(日) 会場校企画・プロジェクト研究・ラウンドテーブル

● プロジェクト研究「社会教育研究における方法論の検討」—— 9:30～12:30

テーマ:「社会教育研究方法の新たな挑戦」

司 会:安藤耕己(山形大学) 藤田美佳(奈良教育大学)

報告1 「社会教育とコミュニティの構築に関する研究方法の検討—社会関係資本論に基づくアプローチ—」 荻野亮吾(東京大学)

報告2 「農山村における非日常的経験の意義とその研究方法」 野田恵(東京農工大学・非常勤)

報告3 「生活綴方教育の方法論を越えて—鶴見和子の未公開ノートから生活記録運動を読み直す—」

猿山隆子(京都造形芸術大学通信教育部・非常勤)

コメンテーター:末本誠(神戸大学名誉教授)、松田武雄(名古屋大学)

● 会場校企画「市民運動を記録する実践」—— 9:30～12:30

テーマ「市民運動の記録と継承—練馬の母親たちを中心に」

報告1 平野泉(立教大学共生社会研究センター学術調査員)「実践の記録と、記録をめぐる実践——共生社会研究センターの経験から」

報告2 山崎雅子(立教大学学校・社会教育講座兼任講師)・野々村恵子(元練馬区社会教育主事)「記録を通して、学び、伝える——練馬母親連絡会の奇跡と練馬女性史を拓く会の活動」

コメント 中俣保志（香川短期大学）

司会 和田悠会員（立教大学文学部教育学科）

● 特別企画2：倫理問題に関する研修会（倫理規程策定委員会）—— 13：15～14：05

講演：学会におけるハラスメント問題とその対応

講師：金子雅臣（職場のハラスメント研究所所長）

● ラウンドテーブル —— 14：15～16：45

① 社会教育研究における方法論の課題および今後の展望を語る（その3）

コーディネーター：松本大（弘前大学）、安藤耕己（山形大学）、藤田美佳（奈良教育大学）、
添田祥史（福岡大学）、吉田正純（京都聖母学院短期大学）

報告者 萩野亮吾（東京大学）

野田恵（東京農工大学・非常勤）

猿山隆子（京都造形芸術大学通信教育部・非常勤）

② 「地域づくりと社会教育」（その3）

コーディネーター：高橋満（東北大学）、宮崎隆志（北海道大学）、手打明敏（筑波大学）、
田中雅文（日本女子大学）、上田幸夫（日本体育大学）、村田和子（和歌山大学）、
岡幸江（九州大学）

報告者 岡 幸江（九州大学）

報告1 『『地域学習の創造』（東京大学出版会）を語る』佐藤一子（東京大学名誉教授）

報告2 『『農山村に広がる交流と対話的文化運動』をめぐって』岡 幸江（九州大学）

③ アイヌ民族・先住民族教育の現在

コーディネーター：野元弘幸（首都大学東京）

報告1 「文化資本金格差にみるアイヌの子どもの学習環境と教育の課題—東京都の子どもとの比較から」
佐久間孝正（東京女子大学名誉教授）

報告2 「アイヌ民族に関する歴史教育と現在のアイヌ認識」上野昌之（首都大学東京・非常勤）

④ 震災からの地域の復興と被災者の自立を支える支援のあり方

コーディネーター：千葉悦子（福島大学）

報告1 「ドイツの事例を通して、自律／自立の支援のあり方」高雄綾子（フェリス学院大学）

報告2 「被災者たちの主体的な復興の取り組みを支える支援者の支援のあり方」村田晶子（早稲田大学）

東北・北海道研究集会

会場 恵庭市市民会館

日時：5月30日（土）13：30～5月31日（日）16：00

5月30日（土）：シンポジウム

テーマ：地域社会の再生と社会教育（その5）

—地域づくりのコーディネーターに着目して—

5月31日（日）：自由報告

会場：恵庭市市民会館

所在地：〒061-1445 北海道恵庭市新町10番地

交通案内：・札幌駅からJR千歳線恵庭駅まで快速で23分

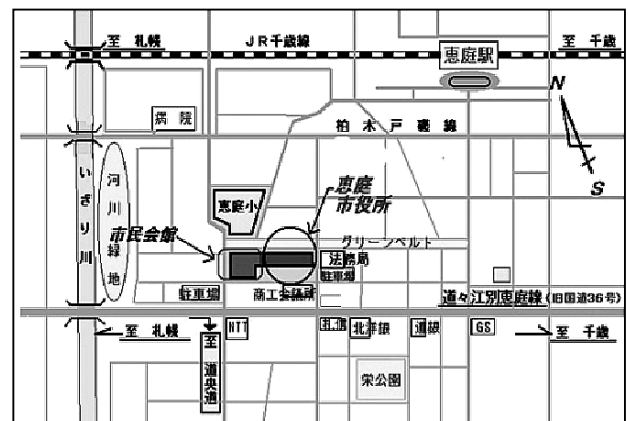
駅から徒歩20分、タクシーで5分

・新千歳空港からJR千歳線恵庭駅まで快速で13分

・中央バス恵庭市役所前下車、徒歩3分

連絡先 住所：札幌市北区北11条西7丁目 北海道大学大学院教育学研究院

電話：011-706-3495 e-mail：miyazaki@edu.hokudai.ac.jp



日 時：6月27日（土）10：00～16：00

テーマ：「子ども・若者が市民として育つために」

午前の部

基調提案「子ども・若者が市民として育つために」大野木龍太郎（浜松学院大学）

報告1「学校支援地域本部はコミュニティスクールの核となれるか」江越弘道（三島市生涯学習課）

報告2「学校と市民活動の協働の可能性」長田 治義（浜松市市民協働センター長）

司会 松浦 崇（静岡英和学院大学）

午後の部

グループディスカッション

全体会

司会 池谷美衣子（浜松学院大学）、石原剛志（静岡大学）

会 場：アイセル21（静岡市葵生涯学習センターと静岡市女性会館の複合施設）

会場住所：〒420-0865 静岡県静岡市葵区東草深町3番18号

交通案内：徒歩：JR静岡駅北口より約30分

バス（しずてつジャストライン）：JR静岡駅北口10番乗り場より、県立病院高松線に乗りし、「アイセル21」で下車（約10分）

※駐車スペースに限りがあるため、公共交通機関をご利用ください。

※お車でお越しの場合は、近隣の有料駐車場（静岡市民文化会館駐車場など）をご利用ください。

終了後にJR静岡駅付近で交流会を予定しています。参加される方は、6月20日（土）までに下記連絡先にお申し込みをお願いします。

連絡先：静岡大学教育学部 渋江 かさね（2015年度東海・北陸地区社会教育研究集会実行委員会事務局）

住所：〒422-8006 静岡県静岡市駿河区大谷836 静岡大学教育学部

T E L：054-238-4602（研究室直通）

E-mail：eksibue@ipc.shizuoka.ac.jp

※今回の研究集会は、静岡県内に勤務する大学教員から構成される、実行委員会形式で実施します。



第39回 関西研究集会

会場 関西大学 千里山キャンパス 100周年記念会館

日時：7月11日（土） 10：30～16：30

全体テーマ：高齢社会における社会教育の公共性：高齢者の学習と実践

午前：「高齢者の社会教育をめぐって」

司会：藤田美佳（奈良教育大学）

基調提案

1. 高齢者の学習と実践

堀 薫夫（大阪教育大学）

2. 高齢社会における貧困問題と地域とのつながり

野依智子（福岡女子大学）

午後：実践報告と討議

1. NPO法人大阪府高齢者大学校の取り組み：廃止からのリカバリー

佐藤宏一（大阪府高齢者大学校理事長）

2. つるかめ大学の学習課題とその取り組み

中川知子（大阪府貝塚市立中央公民館）

3. 超高齢地域の公民館活動に求められていること～海南市北野上地域の試み～

宗 秀昭（海南市立北野上公民館館長）

コーディネーター：村田和子（和歌山大学）

コメンテーター：野依智子（福岡女子大学）

会場：関西大学 千里山キャンパス 100周年記念会館

会場住所：吹田市山手町3丁目3番35号

交通案内：阪急千里線「北千里」行きで「関大前」駅下車（この間約20分）、南口から南門に入り徒歩3分

終了後、100周年記念会館内「レストラン紫紺」にて交流会を予定しています。参加される方は下記問い合わせ先にお申し込みください。

※保育サービス、手話通訳に対応します。希望される方は、下記連絡先までお問い合わせの上、6月10日までにお申し込みください。

連絡先 住所：630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 次世代教員養成センター 藤田美佳

TEL/FAX：0742-27-9268（研究室直通） E-Mail：mfujita@nara-edu.ac.jp



第16回 中国・四国地区社会教育研究集会

会場 鳥取大学

日時：6月13日（土） 13：30～17：00

テーマ：子育てと社会教育―「森のようちえん」を考える―

報告1 NPO法人まるたんぼう（智頭） 西村早栄子

報告2 NPO法人親子支援hughug（大山） 常盤亜佐子

報告3 とっとり森のおさんぽ会トコトコ（鳥取） 尾崎 敬子

報告4 全国の「森のようちえん」の現状と課題 大谷直史（鳥取大学）

コメント①社会教育の視点から 生田周二（奈良教育大学）

コメント②保育学の視点から 塩野谷齊（鳥取大学）

司会：一盛 真（鳥取大学）

共催：＜労働と教育＞フォーラム

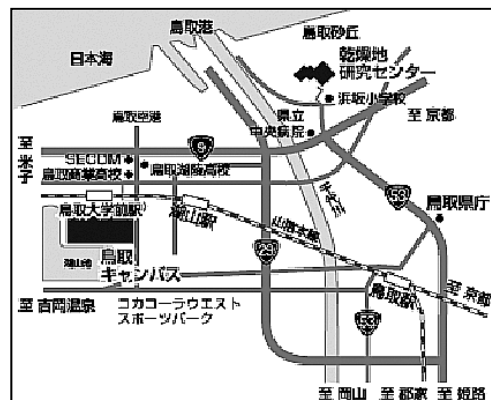
会場：開催場所名称：鳥取大学湖山地区キャンパス教員養成センター（正門を入り左側）

交通案内：所在地：JR利用

鳥取駅から山陰本線 鳥取大学前駅下車 徒歩3分

バス利用（日の丸バス） 鳥取駅バスターミナル⑤番のりばで乗車 鳥大線「大学前」下車すぐ

湖岸線、鹿野線「鳥商前」下車 徒歩5分



タクシー利用 鳥取駅から約15分

連絡先： 住所：680-8551 鳥取市湖山町南1丁目101 鳥取大学地域学部一盛研究室

電話：0857-31-5158 e-mail：ichimori@rs.tottori-u.ac.jp

九州・沖縄地区六月集会

会場 南九州大学 宮崎キャンパス

開催日：6月27日（土） 13時30分～17時

内容＜公開シンポジウム＞

テーマ：「地方創生の時代」のまちづくりと社会教育

シンポジスト

森山 喜代香（宮崎県社会教育委員連絡協議会 会長）

山下 亜紀子（九州大学、宮崎県社会教育委員の会議 副議長）

谷越 衣久子（一般財団法人みやざき公園協会 南部事業室長／
日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会 事務局）

春村光行（都城市笛水地区公民館館長）

コーディネーター 岡 幸江（九州大学）

開催場所名称：南九州大学 宮崎キャンパス

所在地：〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島5丁目1-2

交通案内

車：九州自動車道→えびのJCT→宮崎自動車道→宮崎IC下車、車で約20分。

JR：「宮崎」→「宮崎神宮」下車、徒歩で約20分。

高速バス：「宮崎駅」下車→宮崎交通「宮崎駅東」→
（8番線）→「霧島4丁目」下車。

空路：「宮崎空港」→「デパート前」乗り換え→
「霧島4丁目」下車。



＜エクスカーション＞

日時：6月28日（日） 9時00分～14時（昼食含む）

内容：「綾町フィールドワーク」 案内役：郷田美紀子さん

連絡先

住所：宮崎国際大学教育学部 相戸 晴子

宮崎市清武町加納丙1405番地

電話：0985-85-5931 e-mail：haito@edu.miyazaki-mic.ac.jp

日本社会教育学会 事務局

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-24-1 第2ユニオンビル4F

(株) ガリレオ 学会業務情報化センター内

TEL：03-5981-9824 FAX：03-5981-9852

E-mail g029jsace-mng@ml.gakkai.ne.jp